

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

都市環境
令和6年度事業

1. PLAN（計画）

分野	3-1 交通体系	担当課
	① 幹線道路の整備	建設環境課
施策の展開方向	<ul style="list-style-type: none"> ●日常生活において、安全かつ快適で円滑に移動できる環境を提供するとともに、災害時におけるライフラインを確保するため、幹線道路の整備を推進します。 ●幹線道路の渋滞緩和に取り組みます。 	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
橋梁補修・耐震工事【%】	-	73.0	88.0	92.0	95.0	98.0			100
		対前年増減→	+15.0	+4.0	+3.0	+3.0			
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)	総合戦略
取組① ライフラインの確保に係る道路橋梁の整備 【取組の概要（背景・目的等）】 町が管理する道路橋梁（全23橋）において、5年に一度の定期点検を実施し、健全度を把握し、維持管理に努めるとともに、早期措置段階と認められた橋梁については、補修などを実施し長寿命化を図ります。 【実施内容・成果（R06）】 橋梁長寿命化修繕計画に則り、橋梁の長寿命化を目的とした補修設計（二重坂橋）及び補修工事（三軒屋橋）を実施しました。 【事業費（R06）】 ・橋梁長寿命化事業：20,190千円	A	【評価の理由・根拠】 橋梁における補修について、着実に補修実績を上げているため、評価をAとしています。 【今後の取組方針】 過年度の橋梁定期点検結果で健全度判定（Ⅲ）となった2橋において、1橋については補修工事が完了し、残りの1橋については令和7年度に補修工事を進めていきます。 3巡目の橋梁定期点検を令和8・9年度に控えていることから、実施に向けた準備を進めていきます。	-

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

都市環境

令和6年度事業

1. PLAN（計画）

分野	3-1 交通体系	担当課
	① 幹線道路の整備	まちづくり推進課
施策の展開方向	<ul style="list-style-type: none"> ●日常生活において、安全かつ快適で円滑に移動できる環境を提供するとともに、災害時におけるライフラインを確保するため、幹線道路の整備を推進します。 ●幹線道路の渋滞緩和に取り組みます。 	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
服部台明星線（服部記念病院前～奈良友誼会病院前）事業進捗率【%】	-	50.0 対前年増減→	50.0 ±0	79.2 +29.2	100.0 +20.8	100.0 ±0			100
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)
取組① 都市計画道路の整備 【取組の概要（背景・目的等）】 安全で快適に移動できる道路環境・道路網の整備を推進します。 【実施内容・成果（R06）】 上牧交差点の交通渋滞が緩和されるとともに、主要施設へのアクセス性の強化と交通の円滑化を図るため、町道下牧高田線と県道中筋出作川合線とのバイパスとなる服部台明星線を開通したことにより、令和5年度に完了しました。 【事業費（決算額：R06）】 予算計上なし	A	【評価の理由・根拠】 町決定の都市計画道路の整備が完了しているため、評価をAとしています。 【今後の取組方針】 都市計画道路の見直し検証した結果存続路線に位置付けられているため、今後は、県の事業計画に基づき対応していきます。

総合戦略

-

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

都市環境
令和6年度事業

1. PLAN（計画）

分野	3-1 交通体系	担当課
	② 公共交通の利便性向上	まちづくり推進課
施策の展開方向	<ul style="list-style-type: none"> ●地域住民の移動手段を確保するため、コミュニティバスの運行を継続するとともに、コミュニティバスをより身近で、より便利なサービスとして認知していただくため、利用促進に取り組みます。 ●町民や利用者、交通事業者、行政関係者など関係する主体により地域課題に対する検討を行い、民間バスとの接続の円滑化など、よりよい地域公共交通の実現に向けて取り組みます。 	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
上牧町地域公共交通会議開催数（年間）【回】	○	-	-	-	-	-			2
		対前年増減→	±0	±0	±0	±0			
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)
取組① 上牧町地域公共交通会議の開催 【取組の概要（背景・目的等）】 持続可能な地域公共交通の形成に資する、地域公共交通の活性化に取り組みます。 【実施内容・成果（R06）】 庁内の公共交通関係部局（総務課、福祉課、生き活き対策課）とともに課題の洗い出しを行い、検討を行う内部検討会を令和5年に引き続き実施しました。 また、県内の先進地におけるAIオンデマンド交通の導入事例について研究し、あわせてAIオンデマンド交通のシステム事業者との協議も行いました。 【事業費（決算額：R06）】 予算計上なし	B	【評価の理由・根拠】 鉄道駅のない上牧町にとって、公共交通の利便性の向上や町民の移動手段に関するニーズを把握すること、およびそのニーズや課題解決に取り組む協議会を組織する必要があります。そのため、庁内の関係部局が把握しているニーズを出し合い、課題をまとめ公共交通機関との協議へ進める必要があるため、評価をBとしています。 【今後の取組方針】 県内外の取組事例を調査・研究し、上牧町の交通課題の解決に向け地域公共交通会議の立ち上げに向け前向きに検討します。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

都市環境

令和6年度事業

1. PLAN（計画）

分野	3-1 交通体系	担当課
	② 公共交通の利便性向上	総務課
施策の展開方向	<ul style="list-style-type: none"> ●地域住民の移動手段を確保するため、コミュニティバスの運行を継続するとともに、コミュニティバスをより身近で、より便利なサービスとして認知していただくため、利用促進に取り組みます。 ●町民や利用者、交通事業者、行政関係者など関係する主体により地域課題に対する検討を行い、民間バスとの接続の円滑化など、よりよい地域公共交通の実現に向けて取り組みます。 	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
コミュニティバス延べ利用者数（年間）【人】	○	42,699 対前年増減→	54,747 +12,048	66,141 +11,394	79,585 +13,444	84,127 +4,542			60,000
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果（DO）	評価（CHECK）	今後の取組方針等（ACTION）
取組① コミュニティバスの利用促進 【取組の概要（背景・目的等）】 コミュニティバスの存在の周知及び利便性の向上を図ります。 【実施内容・成果（R06）】 令和5年度にダイヤ改正、バス停の増設などを行い、令和6年度も安定した運行を行いました。 【事業費（決算額：R06）】 ・コミュニティバス運行事業：34,130千円	A	【評価の理由・根拠】 要望やクレームなどはあるものの、ドライバーのかたへの感謝やお礼のお言葉、また、気持ちよく乗車できた便利になったなどの嬉しいお声を多数いただいています。 その反面、駅への乗り入れや17時以降の運行希望の要望などのお声も聞いています。しかしながら、昨年度より、約4,500人増のご乗車をいただいております。住民のみなさんの交通手段のひとつとして定着してきていると考えます。そのため、評価をAとしています。 【今後の取組方針】 住民のみなさんからの様々な要望や運行中に生じる課題について、今後も引き続き検討、研究をしていきます。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

都市環境

令和6年度事業

1. PLAN（計画）

分野	3-1 交通体系	担当課
	③ 生活道路の整備	建設環境課
施策の展開方向	<ul style="list-style-type: none"> ●生活道路の舗装維持工事の整備を推進します。 ●町内各生活道路の維持・管理に努めるとともに、要改修箇所の整備に努めます。 ●自転車の通行空間における安全面の確保に向けて、自転車優先道路の整備等に向けた検討を行います。 	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
道路舗装【km】	-	22.0 対前年増減→	24.1 +2.1	26.0 +1.9	28.3 +2.3	30.5 +2.2			40.0
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)
取組① 計画的な道路修繕の実施 【取組の概要（背景・目的等）】 道路整備について、舗装の長寿命化を図るため個別施設計画及び自治会要望を勘案し、道路環境及び道路網の整備を進めていきます。 【実施内容・成果（R06）】 車道舗装の個別施設計画の見直しを実施し、車道舗装においては、路線数11路線、合計延長2.2kmの舗装修繕を実施しました。また、歩道の舗装修繕として延長350mの舗装修繕を実施しました。 【事業費（R06）】 ・道路長寿命化事業：127,266千円	A	【評価の理由・根拠】 着実に舗装修繕実績を上げているため、評価をAとしています。 【今後の取組方針】 引き続き車道の整備については、個別施設計画及び自治会要望を勘案し、道路環境及び道路網の整備を進めていきます。 歩道修繕事業についても個別施設計画に則り計画的に歩道の舗装修繕を進めていきます。
取組② 自転車優先道路の整備等に向けた調査・研究 【取組の概要（背景・目的等）】 自転車の通行空間における安全面の確保に向けて、自転車優先道路の整備などに向けた検討を進めていきます。 【実施内容・成果（R06）】 自転車道の整備について、他市町村の動向を注視するとともに、県管理課との調整及び警察との協議を行い、実施の有無及び規模などについて勘案していきます。 【事業費（R06）】 予算計上なし	B	【評価の理由・根拠】 滝川遊歩道の整備工事が実施され、右岸側に自転車優先道が整備されましたが、現道との取り合い部（町道横断部、始点終点部）においては、自転車優先道としての整備が残されている状態であるため、評価をBとしています。 【今後の取組方針】 自転車優先道路としての範囲やルート及び起終点における隣接する自治体との協議を実施し、計画策定に向けた取組を進めていきます。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

都市環境

令和6年度事業

1. PLAN（計画）

分野	3-1 交通体系	担当課
	④ 交通環境の改善	建設環境課
施策の展開方向	<ul style="list-style-type: none"> ●通過交通の多い道路については、歩道の設置に向けた検討または設置の要請を行います。 ●狭あい箇所や見通しの悪いカーブ、交差点等の改良を進めるとともに、道路の維持管理に努めます。 ●違法駐車や放置自転車の取り締まりと啓発を進めます。 ●植樹帯や街路樹、フラワーポットを設置するなど、快適で心地よい道づくりを進めます。 	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
交差点交通安全対策（バリカー設置）【%】	-	-	47	68	82	94			100
		対前年増減→	+47.0	+21.0	+14.0	+12.0			
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)
取組① 町内の危険箇所への交通安全設備の設置		総合戦略 -
<p>【取組の概要（背景・目的等）】 通過交通の多い道路、交差点において、安全面での改良を進めるとともに、道路の維持管理を進めていきます。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 交通安全設備の整備として、サンディ前交差点及び上牧交差点において、車止めの設置を行いました。南上牧公民館前の水路において、防護柵の設置を行いました。坂口牛萩線の内690m区間において、路肩のカラー化（緑）を実施しました。町内の危険箇所において、6基（北上牧3・桜ヶ丘2・服部台1）のカーブミラーの新設を行いました。</p> <p>【事業費（R06）】 ・交通安全対策事業：16,742千円</p>	A	<p>【評価の理由・根拠】 交差点の安全対策として、着実に実績を上げているため、評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 交通量の多い交差点部において、車両の逸走時の安全対策として、物理的な歩行者の安全対策を実施し、安全で安心な通学環境を整える工事を進めていきます。</p>
取組② 道路空間の環境改善		総合戦略 -
<p>【取組の概要（背景・目的等）】 施設の維持管理・修繕を計画的に実施し、安全、快適に移動できる道路空間の形成を目的とした整備を進めていきます。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 道路の環境改善として、町内の主要路線において、区画線設置及び復旧工事を実施しました。区画線の設置及び復旧延長としては約3,330mです。</p> <p>【事業費（R06）】 ・交通安全施設事業：2,480千円</p>	A	<p>【評価の理由・根拠】 道路空間環境の一つである区画線において、復旧及び新設を行い、環境維持が実施できていると考えられるため、評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 道路施設の老朽化が進行しているなか、施設の維持管理・修繕を計画的に実施し安全、快適に移動できる道路空間の形成を目的とした工事を進めていきます。 歩道の無い道路の路肩や信号のない交差点部について、カラー化などにより車両と歩行者との通行空間を視覚的に分離することで通行車両の速度抑制を図り、歩行空間の環境改善を進めていきます。</p>

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

都市環境

令和6年度事業

1. PLAN（計画）

分野	3-2 環境衛生	担当課
施策の展開方向	① ごみの減量化・資源の再利用	建設環境課
	●3R【「リデュース（ごみになるものを減らす）」「リユース（繰り返し使う）」「リサイクル（資源として再び使う）」】を積極的に呼びかけ、適正な分別により家庭から排出されるごみを減らすように努めます。 ●資源化やリサイクルに関するイベントの実施を通じて住民の意識向上を図るとともに、民間事業者と連携しながら、循環型社会の実現に向けて取り組みます。 ●生ごみの有機肥料化への取組に対して積極的な支援を行います。	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
可燃ごみの収集量（年間）【t】	-	3,431 対前年増減→	3,435 +4	3,344 -91	3,244 -100	3,033 -211			2,717
再生資源集団回収量（年間）【t】	-	719 対前年増減→	695 -24	656 -39	590 -66	525 -65			941
資源ごみの収集量（年間）【t】	-	193 対前年増減→	171 -22	187 +16	213 +26	234 +21			198

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)
取組① ごみの分別・減量化の推進 【取組の概要（背景・目的等）】 ごみの分別及びごみの削減について周知徹底し、3R（リデュース・リユース・リサイクル）を実践します。 【実施内容・成果（R06）】 ・EMボカシ菌の配付を行い、生ごみの削減に努めました。（リサイクル） パケツ新規配付量：（令和6年度：64個、令和5年度：33個、令和4年度：27個） ・家庭から出る不用品をリユースする目的で、フリーマーケット（ベガサフェスタ）を実施しました。（リユース）（令和6年度：13区画） ・食品ロス削減のために令和7年1月からフードドライブを開始しました。（リユース）（令和6年度：16点） ・ごみ減量のために令和6年9月から廃食油回収を開始しました。（リデュース・リサイクル）（令和6年度：1,719L） 【事業費（決算額：R06）】 ・ごみ減量促進事業：170千円	A	【評価の理由・根拠】 現行のEMボカシ菌配付やフリーマーケット開催に加え、令和6年度から新規でフードドライブならびに廃食油回収を開始したため、評価をAとしています。 【今後の取組方針】 今後も継続して推進します。
取組② 資源物分別の啓発 【取組の概要（背景・目的等）】 廃棄物のうち、資源物としての排出割合を増やし、ごみの減量と温室効果ガス削減を目指します。 【実施内容・成果（R06）】 ・令和6年9月から廃食油回収を開始しました。 ・使用済み筆記具の回収を行いました。（令和6年度：5.9kg） ・使用済みインクカートリッジの回収を行いました。（令和6年度：4箱） 【事業費（決算額：R06）】 ・リサイクル推進事業：136千円	A	【評価の理由・根拠】 資源物の回収品目を増やしたため、評価をAとしています。 【今後の取組方針】 今後も継続して啓発します。

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)
取組③ ごみの分別・減量化に向けた情報の発信		総合戦略 -
<p>【取組の概要（背景・目的等）】 ごみの分別・減量化について、広報誌などで発信することで、ごみの減量を目指すほか、分別の間違いなどのトラブルを防止します。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 広報誌での啓発を行いました。 ・マイボトル運動についての記事を掲載。（6月号） ・廃食油回収についての記事を掲載。（9月号） ・食品ロス削減についての記事を掲載。（10月号） ・資源ごみステーションでの分別に関する記事を掲載。（11月号） ・燃えるごみの組成分析に関する記事を掲載。（12月号） ・フードドライブに関する記事を掲載。（1月号） ・スプレー缶、カセットボンベ、紙おむつの分別に関する記事を掲載。（2,3月号） その他 ・冊子「ごみの分け方&出し方」を全戸配布。 ・食品ロス削減月間にSNSで1週間に一度食品ロスに関する情報を発信。</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 予算計上なし</p>	A	<p>【評価の理由・根拠】 十分に周知を行うことができたため、評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 引き続き広報やSNSを通じて、ごみ減量に向けた発信を行います。</p>

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

都市環境

令和6年度事業

1. PLAN（計画）

分野	3-2 環境衛生	担当課
	② ごみ収集体制の構築・充実	建設環境課
施策の展開方向	<ul style="list-style-type: none"> ●再資源化への取組を強化するうえで、2025年（令和7年）からはじまる広域ごみ処理施設の稼働にあわせて、適切なごみの分別収集を推進します。 ●広報などを通じて、ごみの分別収集の徹底を図ります。 	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
		対前年増減→							
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)
取組① 広域ごみ処理施設の運営 【取組の概要（背景・目的等）】 令和7年度から山辺・県北西部広域環境衛生組合のごみ処理施設が稼働することに伴い、同組合に準じた分別方法や持込方法にしていきます。 【実施内容・成果（R06）】 令和7年4月から新たにスプレー缶・カセットボンベの分別を開始するため、広報誌掲載や地域への回覧を通じて周知を行いました。 山辺・県北西部広域環境衛生組合の基準に合わせた冊子「ごみの分け方&出し方」を発行し、全戸配布しました。 【事業費（決算額：R06）】 ・山辺・県北西部広域環境衛生組合事業（施設建設費を含む）： 1,854,125千円	A	【評価の理由・根拠】 新しい分別について、よいタイミングで周知でき、冊子の配布を行うことができたため、評価をAとしています。 【今後の取組方針】 引き続き分別について周知徹底を図ります。
取組② ごみ収集サービスの見直し・検討 【取組の概要（背景・目的等）】 ステーション方式とふれあい収集の両収集体制で、ごみ出し困難者が出ないようにしていきます。 【実施内容・成果（R06）】 概ね65歳以上の要介護2以上の希望者がふれあい収集を利用しています。利用日にごみが排出されていない場合、利用者などに電話をし安否確認を行いました。（令和6年度申込者数：6人、令和6年度利用者数：24人、令和6年度安否確認実績：65回） 【事業費（決算額：R06）】 予算計上なし	A	【評価の理由・根拠】 ステーション方式とふれあい収集の両体制で、ごみ出し困難者が出ないように配慮しているため、評価をAとしています。 【今後の取組方針】 ステーション方式を維持しつつ、ふれあい収集についても周知し充実させていきます。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

都市環境
令和6年度事業

1. PLAN（計画）

分野	3-2 環境衛生	担当課
施策の展開方向	③ 斎場・墓地の運営及び維持管理の充実	まちづくり推進課
●静香苑及び町営墓地の適切な維持管理に取り組みます。 ●静香苑の利用者ニーズに応じた利用方法等の見直しを行い、より充実したサービスの提供に努めます。		

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
		対前年増減→							
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)
取組① 町営墓地の維持管理の充実 【取組の概要（背景・目的等）】 町営墓地の適切な維持管理と利用者のためのサービス向上に努めます。 【実施内容・成果（R06）】 定期的な巡回パトロールを行いました。維持管理については、墓地敷地内の通路溝の清掃や樹木の剪定伐採を実施しました。 ・樹木剪定 維持管理（敷地内通路及び溝の清掃、樹木剪定） 年1回 8月実施 ・職員による定期的な巡回パトロール（不法投棄や樹木の成長具合確認及び清掃） 月1回 【事業費（決算額：R06）】 ・町営墓地維持管理事業：895千円	A	【評価の理由・根拠】 年1回の剪定伐採及び通路溝の清掃や定期的な巡回パトロールと清掃を行うことにより適切な維持管理が出来ているため、評価をAとしています。 【今後の取組方針】 通路溝の清掃や樹木剪定伐採、定期的な巡回パトロール及び清掃を引き続き行っていきます。 近隣市町村の状況などを確認し、未使用墓地や墓じまいなどを含めた墓地の維持管理の方法を検討協議していきます。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

都市環境

令和6年度事業

1. PLAN（計画）

分野	3-2 環境衛生	担当課
	③ 斎場・墓地の運営及び維持管理の充実	建設環境課
施策の展開方向	<ul style="list-style-type: none"> ●静香苑及び町営墓地の適切な維持管理に取り組みます。 ●静香苑の利用者ニーズに応じた利用方法等の見直しを行い、より充実したサービスの提供に努めます。 	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
		対前年増減→							
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)
取組① 静香苑の利用者ニーズに応じた管理運営体制の充実 【取組の概要（背景・目的等）】 構成3町（王寺町・河合町・上牧町）の利用者の要望に対し、検討しながら適切な運営管理を行います。 【実施内容・成果（R06）】 利用者からの要望はありませんでしたが、以下の修繕などを行い、非常時に停電を回避できるようになったことや、式場予約の際にダブルブッキングなどの問題が起こらないようにすることが可能となりました。 （火葬炉設備修繕、空調設備修繕、高圧交流賦課開閉器コンデンサ等更新工事、自動扉開閉装置更新、公用車購入、ホームページリニューアル、式場全面利用システム改修） 【事業費（決算額：R06）】 ・静香苑環境施設組合事業：29,520千円	A	【評価の理由・根拠】 要望がないながらも一定の施設管理を行ったため、評価をAとしています。 【今後の取組方針】 令和7年度は火葬炉維持年次計画のとおり次の作業を行う予定です。 ・火葬炉設備修繕 ・空調設備修繕 ・自動火災報知設備取替工事 ・火葬炉排気扇改修工事 ・例規整備（個人情報安全管理措置等） その他、利用者からの要望があればできる限り柔軟に対応したいと考えます。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

都市環境

令和6年度事業

1. PLAN（計画）

分野	3-3 住宅	担当課
施策の展開方向	<p>① 良好な住環境の確保</p> <p>●快適な住環境の整備を図るため、県及び町の開発指導要綱に基づいた適切な土地利用を推進します。 ●安全で安心できる住環境の整備を推進するため、一般住宅の耐震化普及啓発や耐震補助などを行います。 ●人口減少に伴い増加傾向にある空き家の流通促進や地域資源として利活用に取り組むことで、地域課題の解決や移住・定住促進につなげます。 ●入居者の減少や高齢化が進んでいるUR団地及び周辺地区の魅力向上と活性化を図るため、今後のまちづくりについて、関係者と協議を行います。</p>	まちづくり推進課

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
既存木造住宅耐震改修補助件数（年間）【件】	-	- 対前年増減→	- ±0	2 +2	1 -1	3 +2			2
空き家・空き地バンク登録件数（累計）【件】	○	4 対前年増減→	4 ±0	4 ±0	6 +2	7 +1			15
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)
<p>取組① 既存木造住宅の耐震化促進</p> <p>【取組の概要（背景・目的等）】 安全で安心できる住環境の整備を推進するため、一般住宅の耐震化普及啓発や耐震補助などを行います。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 令和6年度においても町内の既存木造住宅について耐震診断・耐震改修の補助事業を実施し、耐震診断については5件、耐震改修については3件の申請について補助を実施しました。</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 ・住宅耐震促進事業：1,500千円</p>	A	<p>総合戦略 -</p> <p>【評価の理由・根拠】 取組の目的などを広く町民に周知し、耐震診断・耐震改修の補助の実施件数も令和5年度と同等以上で実施できているため、評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 既存木造住宅の耐震診断及び改修の必要性について引き続き周知を行います。 また、令和7年度は耐震改修促進計画の見直しを行う年度となるため、より一層安全で安心できる住環境の整備に向けた取組を実施します。</p>
<p>取組② 空き家利活用の推進</p> <p>【取組の概要（背景・目的等）】 増加傾向にある空き家の流通促進や地域資源としての利活用に取り組めます。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 空き家・空き地バンクへの物件の登録について、空き家所有者などからの新規相談が9件あり、所有者立会いの下での現地調査は7件行いました。そのうち1件が、上牧町空き家バンクへの登録へ至りました。 空き家・空き地バンクの物件の利用登録について、新規相談が33件、利用者登録は14件あり、内覧は3件ありましたが、新たな利活用に至った物件はありませんでした。 また、税務課から発出される固定資産税通知に空き家バンク登録に関する案内も同封し、空き家利活用の促進を行いました。</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 ・空き家対策事業：203千円</p>	A	<p>総合戦略 基本目標.2</p> <p>【評価の理由・根拠】 空き家所有者に空き家バンクの紹介を地道に行っていた結果、空き家物件を1件登録することができたため、評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 引き続きNPO法人空き家コンシェルジュの協力のもと、空き家の利活用に結びつくよう登録物件所有者との交渉や利活用に向けた提案を行っていきます。また、全国での空き家利活用の成功事例などについても調査・研究を行い空き家・空き地バンクの活用を推進します。</p>

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

都市環境

令和6年度事業

1. PLAN（計画）

分野	3-3 住宅	担当課
	① 良好な住環境の確保	企画財政課
施策の展開方向	<ul style="list-style-type: none"> ●快適な住環境の整備を図るため、県及び町の開発指導要綱に基づいた適切な土地利用を推進します。 ●安全で安心できる住環境の整備を推進するため、一般住宅の耐震化普及啓発や耐震補助などを行います。 ●人口減少に伴い増加傾向にある空き家の流通促進や地域資源として利活用に取り組むことで、地域課題の解決や移住・定住に努めます。 ●入居者の減少や高齢化が進展しているUR団地及び周辺地区の魅力向上と活性化を図るため、今後のまちづくりについて、関係者と協議を行います。 	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
UR都市機構等関係者とのまちづくりに関する意見交換回数（年間）【回】	○	3 対前年増減→	5 +2	3 -2	2 -1	1 -1			4
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)
取組① UR都市機構等関係者との協議 【取組の概要（背景・目的等）】 入居者の減少や高齢化が進展しているUR団地及び周辺地区の魅力向上と活性化を図るため、今後のまちづくりについて、関係者と協議を行います。 【実施内容・成果（R06）】 西大和片岡台団地において、高齢者の見守り・生活相談・交流促進を行うとともに、日頃から高齢者と地域関係者をつなぐ役割を担う生活支援アドバイザーが令和3年度から配置されたことに伴い、活動状況の報告をいただきました。また、都市計画についての内容など、近隣のURの動向など、情報交換を行いました。 ■活動報告 《生活支援アドバイザー》 折紙講座、モルックサークル活動、認知症サポーター養成講座 《上牧町地域包括支援センター》 認知症サポーター養成講座 《その他》 鷹の飛翔デモンストレーション、はじめてのスマホ教室、多文化共生×防災イベント、マリンパデュオコンサート 【事業費（決算額：R06）】 予算計上なし	B	【評価の理由・根拠】 生活支援アドバイザーの設置など、高齢者向けの施策については、一定程度進んでいますが、若者世帯向けの施策についての取組が必要であると考えていることから評価をBとしています。 【今後の取組方針】 引き続き、UR都市機構と連携し、若者の移住・定住促進につながる取組として、リノベーションやDIYに対する支援制度や若者に好まれる環境整備など、UR西大和片岡台の整備方針を踏まえて、UR都市機構と相談しながら啓発活動やリノベーションに関する要望などを行います。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

都市環境

令和6年度事業

1. PLAN（計画）

分野	3-3 住宅	担当課
	② 町営住宅等の適正な管理運営	まちづくり推進課
施策の展開方向	<ul style="list-style-type: none"> ●ライフサイクルコストの縮減を目指し、「上牧町営住宅長寿命化計画」に基づく予防的保全管理、長寿命化に資する改善を実施します。 ●町営住宅の状況や将来に対する見通しを踏まえ、町営住宅等の適切な管理運営に努めます。 	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
町営住宅管理戸数【戸】	-	422 対前年増減→	421 -1	421 ±0	421 ±0	421 ±0			380
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)
取組① 町営住宅等の適切な修繕・改善		総合戦略 -
<p>【取組の概要（背景・目的等）】 町営住宅の経年劣化による修繕の見通しを考え、適切な管理の実現を目指します。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 維持管理（修繕）について、適正に実施しました。《維持管理（修繕）の件数》 町営住宅31件、改良住宅13件（修繕内容：屋根雨漏り、壁修繕、排水管修繕等）</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 ・住宅管理事業：8,601千円</p>	A	<p>【評価の理由・根拠】 町営住宅の維持管理（修繕）について、適正に実施したため評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 上牧町営住宅長寿命化計画に基づく予防保全的管理として令和7年度にて町営第6住宅外壁改修設計委託を行い令和8年度から工事を行っていきます。また、住宅の劣化に対する修繕を適正に実施していきます。</p>
取組② 社会的特性を考慮したストックマネジメントの推進		総合戦略 -
<p>【取組の概要（背景・目的等）】 町営住宅のライフサイクルコストの縮減を目的に、住宅のストックマネジメントを形成します。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 住宅のストックマネジメント形成に必要な町営住宅などの整備及び管理データを、住宅単位で整理しました。管理データは、日常点検、定期点検、計画修繕及び緊急修繕などを反映し、データベース化しました。</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 ・住宅管理事業：8,601千円</p>	B	<p>【評価の理由・根拠】 上牧町営住宅長寿命化計画に基づき適切な点検修繕、データ管理等を行いました。具体的な運営基本方針を整理する必要があるため評価をBとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 上牧町営住宅長寿命化計画に基づき、住宅ストックの適切なマネジメントを行うため将来的な需要の見通しを踏まえた住宅のあり方を考慮したうえで、効率的、効果的な住宅の事業方法を選定し、長寿命化に資する予防保全的な管理を推進していきます。</p>

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

都市環境

令和6年度事業

1. PLAN（計画）

分野	3-4 上水道・下水道	担当課
	① 安定した給水体制の構築	下水道課
施策の展開方向	<ul style="list-style-type: none"> ●安定した供給が行えるよう、施設の更新、耐震化、拡張等を計画的に推進します。 ●老朽化した施設については、維持管理体制を強化し、漏水防止などに努めます。 ●水道事業の適正な運営に努めるとともに、県域水道一体化の実現に向けた県及び関係市町村との調整を行い、持続可能な水道水の安定供給や水道料金の統一化を図ります。 	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
有収率【%】	-	94.0 対前年増減→	95.4 +1.5	95.2 -0.2	94.4 -0.8	93.4 -0.9			94.3
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針等 (ACTION)
取組① 県域水道一体化に向けての県及び関係市町村との調整 【取組概要（背景・目的等）】 人口減少社会の進展による水需要の減少などにより、水道事業を取り巻く経営環境は今後ますます厳しくなり、限られた資源の中、効率的で持続可能な水道事業経営が求められており、県内水道事業の課題を解決し水道の基盤強化のため、県及び市町村の広域連携実現を目的としています。 【実施内容・成果（R06）】 令和7年4月1日付での奈良広域水道企業団設立に向け給水区域内住民への周知及び上水道システムのデータ移行等を実施致しました。 【事業費（R06）】 予算計上なし	A	【評価の理由・根拠】 一体化準備室及び奈良県広域水道企業団設立準備協議会との調整結果を根拠とし、評価をAとします。 【今後の取組方針】 今後の事業においては、予定どおり令和7年4月1日付で奈良県広域水道企業団が設立され、以降の水道事業は奈良県広域水道企業団が引継ぐものとなりました。
取組② 計画的な維持管理と更新 【取組概要（背景・目的等）】 管路更新工事を実施するため、更新対象となる管路を抽出し経年化の進む管路と、地震対策として耐震性能の低い管路を重点的に更新するため、更新計画を令和3年度に策定し、今後については、布設より40年以上で非耐震管路を対象とした更新工事を実施することを目的としています。 【実施内容・成果（R06）】 令和6年度においては、北上牧地区配水管布設替工事における配水管更新工事を予定どおり実施し完了しました。 【事業費（R06）】 ・北上牧地区配水管布設替工事：14,850千円	A	【評価の理由・根拠】 令和3年度作成の管路更新計画書を基に更新計画対象路線の老朽管路を順次更新できているため、評価をAとしています。 【今後の取組方針】 今後の事業においては、奈良県広域水道企業団へ事業が引き継がれ、更新優先度の高い管路の中から順次更新工事を引続き実施致します。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

都市環境

令和6年度事業

1. PLAN（計画）

分野	3-4 上水道・下水道	担当課
	② 下水道の普及	下水道課
施策の展開方向	<ul style="list-style-type: none"> ●現在実施している上牧町流域関連公共下水道整備については、未整備地区の整備を進め、早期完了を目指します。 ●下水道事業の健全経営に努めます。 	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
公共下水道普及率【%】	-	95.7	96.1	97.6	97.8	97.8			97.5
		対前年増減→	+0.4	+1.5	+0.2	-0.0			
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)	総合戦略
取組① 下水道ストックマネジメント計画に基づく老朽化管渠の改築更新 <p>【取組の概要（背景・目的等）】 長期的な視点で下水道施設全体の今後の老朽化の進展状況を考慮し、優先順位づけを行ったうえで、施設の点検・調査・修繕・改築を実施し、施設全体を対象とした施設管理を最適化することを目的とし施設全体の持続的な機能確保及びライフサイクルコストの低減を図ります。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 現在実施中の本計画については、令和2年度に策定した修繕改築計画に基づき、片岡台1丁目地区において進めており、令和7年度の完成を目標とし取り組んでいます。令和6年度については、延長にして約563mが完成し計画どおり進められています。</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 ・片岡台1地区污水管渠改築事業：66,000千円</p>	A	<p>【評価の理由・根拠】 改築計画のとおり進められているので、評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 令和7年度からは、友が丘地区においても修繕改築計画を策定し進めていきます。</p>	-
取組② 下水道事業公営企業会計の適用 <p>【取組の概要（背景・目的等）】 公営企業は、地域の住民サービスを担う企業であり、人口減少などによる料金収入の減少、施設・設備の老朽化に伴う更新投資の増大など厳しさを増す経営環境を踏まえ、地方公共団体が公営企業の経営基盤の強化や財政マネジメントの向上などにさらに的確に取り組むために、公営企業会計の適用を目的としております。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 令和5年度からの下水道事業公営企業会計の適用により、令和5年度の決算額に基づいた固定資産の調査及び評価を実施し、帳簿原価などの算定を行いました。</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 予算計上なし</p>	A	<p>【評価の理由・根拠】 資産価値が明確になったことにより、評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 公営企業会計が独立採算制が基本原則となることから、料金改定に関する検討に取り組んでいきます。</p>	-

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

都市環境

令和6年度事業

1. PLAN（計画）

分野	3-5 バリアフリー	担当課
施策の展開方向	① 面的・一体的なバリアフリー整備の推進	建設環境課
	●障がい者はもとより子どもや高齢者などすべての人が安心して歩ける道路等のバリアフリー整備を進めます。	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
歩道のバリアフリー整備状況【m】	-	500	500	500	500	500			1,140
		対前年増減→	±0	±0	±0	±0			
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)	総合戦略
取組① 主要道路のバリアフリー整備 <p>【取組の概要（背景・目的等）】 障がい者はもとより子どもや高齢者などのすべての人が安心して歩ける道路などのバリアフリー整備を進めていきます。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 バリアフリー重点整備地区内である町道下牧高田線約800mの区間（上牧交差点から友紘会病院）において、段差解消及び点字ブロックの整備を目的とした測量設計業務を令和5年度の繰越し事業として実施いたしました。</p> <p>【事業費（R06）】 ・バリアフリー対策事業：9,460千円</p>	A	<p>【評価の理由・根拠】 下牧高田線の歩道部において、現歩道内でのバリアフリー化（段差解消・点字ブロック整備）に向けた詳細設計業務が完了したため、評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 上牧町バリアフリー基本構想の策定及び上牧町バリアフリー基本構想特定事業計画の策定により、上牧町における特定事業が定められました。 これらの計画策定に伴い、下牧高田線及び米山新町線の歩道において、現道の幅員内での対策として歩道の段差解消及び点字ブロックの整備を進めていきます。</p>	-
取組② 道路等と一体的な公共施設のバリアフリー化の推進 <p>【取組の概要（背景・目的等）】 障がい者はもとより子どもや高齢者など、すべての人が安心して利用できる公園のバリアフリー整備を進めていきます。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 町内69ヶ所の公園において、公園の構造を精査し段差解消や通路幅の確保など整備が必要な個所の把握に努めたことにより、優先順位をつけた整備計画を作成しました。</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 予算計上なし</p>	B	<p>【評価の理由・根拠】 現地精査したことにより、実施に向けて計画的に推進できているが、公園の構造がバリアフリー整備の妨げになっているものもあるため、評価をBとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 今後は、予算の範囲で整備計画も見直ししながら、すべての人が安心して公園を利用できるようにバリアフリー化の整備を進めていきます。</p>	-

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

都市環境

令和6年度事業

1. PLAN（計画）

分野	3-5 バリアフリー	担当課
施策の展開方向	② 共生社会実現に向けた心のバリアフリーの推進	福祉課
	●障がい者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律である「奈良県障がいのある人もない人もともに暮らしやすい社会づくり条例」に従った整備、調整等に努めます。 ●地域で障がいのない人も平等に共生することができるよう、きめ細やかな支援を実施します。 ●障がいのある人や高齢者、妊婦等が毎日の生活の中で暮らしにくくしているもの、困っていること（社会的障壁）を取り除くために、費用や労力等の負担がかかりすぎない範囲でできる支援について啓発を行います。	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
手話養成講座受講者数（年間）【人】	-	6 対前年増減→	6 ±0	10 +4	9 -1	10 +1			10
ヘルプマーク配付数（累計）【人】	-	114 対前年増減→	147 +33	221 +74	295 +74	366 +71			300
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)	総合戦略
取組① 心のバリアフリー意識の醸成			-
<p>【取組の概要（背景・目的等）】 障がいのある人もない人も暮らしやすい地域共生社会の実現に向けて、障がい特性理解を啓発し、心のバリアフリー意識の醸成を図ります。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 手話養成講座は入門編・基礎編を2か年のサイクルで実施しており、令和6年度は基礎編を全21回開講し、10人（延べ203人）が受講、全員が修了されました。 上牧町手話言語条例に基づく施策として、当事者会や手話サークル会員などが参画する「手話推進会議」を全9回開催し、施策に係る協議や評価などの協議を行いました。また、町立小学校の児童を対象に、聴覚障がいの理解啓発と簡単な手話に関する出前講座を行いました。（上牧小学校3・4年生、上牧第二小学校4年生、上牧第三小学校3年生、計180人）町職員向け手話講座では、有志9人の職員が計6回の講座を受講し、簡単な手話の習得に努めました。災害に関する取組では、当事者や手話サークル会員向けに災害対策学習会を開催し、防災に係る意識の醸成を図りました。 障害理解促進啓発事業により第9回住民講座「精神障害ってなんだろう」をテーマにした住民講座を開催しました。（西和7町合同開催 講師：こころの訪問看護ステーションひなた 代表 来場者数：72人）</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 ・手話養成講座実施事業：400千円 ・小学校手話講座事業：104千円 ・町職員手話講座事業：37千円 ・障害理解促進啓発事業：20千円</p>	A	<p>【評価の理由・根拠】 手話言語条例に係る施策について「手話推進会議」の中で話し合った計画に基づき取組を進めることができ、手話養成講座は10人が修了となり目標値を達成することができたため、評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 手話言語条例に係る施策については、関係者の集まる手話推進会議を通じて評価・検証を行いながら、手話の普及に資する事業を継続します。 障害理解促進啓発事業については、西和7町共同実施の住民講座を継続しつつ、上牧町単独で講師を招いた講演会を実施します。</p>	
取組② 合理的配慮の推進・啓発			-
<p>【取組の概要（背景・目的等）】 障がいのある人もない人も暮らしやすい地域共生社会の実現に向けて、合理的配慮推進・啓発に向けた取組を推進します。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 障害者週間の期間中に、町立図書館にて合理的配慮啓発に係る書籍やパンフレット、内部障がいや精神疾患などにより周囲に配慮を必要とすることを知らせる『ヘルプマーク』を展示するコーナーを設置し啓発活動を行いました。ヘルプマークについては、福祉課窓口で実物掲示等を行い周知に努め、計71人（令和5年度：74人）の申請がありました。 西和7町障害者等支援協議会の人権施策部会の中で活動をしている合理的配慮に関する事例集作成については、識者の意見を踏まえた成果物を目指し、内容を協議しながら取組を進めました。</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 ・地域自立支援協議会運営支援事業：58千円</p>	A	<p>【評価の理由・根拠】 ヘルプマークを窓口で実物掲示することで啓発し、昨年度と同程度の申請を受け配付することができ、令和8年度までの目標値を達成したため、評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 ヘルプマークの周知については、認知と理解を深めるために、障害者週間期間中の啓発を継続しつつ、期間外のイベント等においても取組を進めます。 合理的配慮の事例集について、識者の意見聴取を行ったうえで完成を目指し、公共施設などに幅広く配布し啓発活動を推進します。</p>	

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

都市環境
令和6年度事業

1. PLAN（計画）

分野	3-6 環境保全	担当課
施策の展開方向	① 町民・団体・行政による自然管理	まちづくり推進課
	●身近な緑を大切にするため、地域ぐるみの緑化運動や美化活動、里山保全活動を促進し、積極的な支援を行います。	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
遊休農地の活用件数（累計） 【筆】	-	1	1	1	1	1			4
		対前年増減→	±0	±0	±0	±0			
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)
取組① 地域団体の活動支援 【取組の概要（背景・目的等）】 身近な緑を大切にするため、地域ぐるみの緑化活動や美化活動、里山保全活動を行う町民及び団体に対し積極的な支援を行います。 【実施内容・成果（R06）】 桜ヶ丘駐輪場の花壇の会に、夏にはプロフェュージョンジュニア90苗、冬にはパンジー100苗を植えてもらい、令和6年度より片岡台3丁目北側の道沿いに、夏にはガザニア3苗、マリーゴールド30苗、冬にはパンジー15苗、ピオラ15苗、ピンカ3苗を植えてもらい景観保全に努めました。 農業委員会が、遊休農地（1筆）を利用して、ひまわりを植えて、景観保全に努めました。 また農業委員会にて整備が行き届いていない森林の所有者のかたへの通知や里山保全の認知活動を概ね月1回程度行うとともに、不法投棄などが行われていないかの調査も行いました。 「笹ゆり同好会」については、笹ゆり植栽活動（役場前、上牧第二小学校、上牧第三小学校、上牧中学校、上牧第二中学校、金富公園、桜ヶ丘公園、上牧幼稚園、2000年会館東側土手、米山台いこいの広場）を行っててもらい、5月27日から5月31日までの5日間(笹ゆり展示会)において場所の提供及びHPでの広報を行いました。 【事業費（決算額：R06）】 ・公共施設等美化緑化推進事業：59千円	A	【評価の理由・根拠】 緑化活動を行っている桜ヶ丘駐輪場の花壇の会、片岡台3丁目自治会に対し支援を行ったため、評価をAとしています。 【今後の取組方針】 引き続き緑化活動をされている団体及び新たに緑化活動を希望される地域団体を支援します。また、このような活動に対し、地域の子どもの協力を得ながら推進していくことを教育委員会部局などと協議していきます。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

都市環境

令和6年度事業

1. PLAN（計画）

分野	3-6 環境保全	担当課
	② 里山の保全	まちづくり推進課
施策の展開方向	<ul style="list-style-type: none"> ●山林への不法投棄については、パトロールを実施するなど監視体制を強化します。 ●無秩序な開発行為に対する指導・規制を強化します。 ●山林の治山・治水・水源かん養※1等の公益機能を高めるための管理・保全体制を強化します。 	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
森林所有者の森林管理・整備に関する意向確認進捗率【%】	-	-	10.0	10.0	10.0	20.0			50.0
		対前年増減→	+10.0	±0	±0	+10.0			
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)
取組① 森林環境譲与税を活用した森林の管理・整備 【取組の概要（背景・目的等）】 森林の有する公益的機能の維持増進や、森林の整備及び促進に資するため、森林環境譲与税を活用した森林の管理及び整備を行います。 【実施内容・成果（R06）】 整備が行き届いていない森林の所有者のかたへの通知や里山保全の認知活動を概ね月1回程度、農業委員会の協力のもと行いました。また同時に不法投棄などが行われていないかの調査も行いました。また、一般社団法人に委託し、下牧地区の一部の森林所有者を対象に意向調査も行いました。 森林教育及び普及の観点から、森林環境譲与税を活用し町内小学校5年生全クラスの野外活動への研修費に充てました。 【事業費（決算額：R06）】 ・森林環境教育体験学習推進事業：125千円 ・森林所有者調査等業務委託事業：500千円	A	【評価の理由・根拠】 森林の管理及び整備を行う前段階として森林所有者への意向調査を行ったため、評価をAとしています。 【今後の取組方針】 里山保全について町のHPや広報に掲載し、相続されていない森林や所有者不明の森林を少しでも減らすよう、農業委員会協力のもと取り組みます。また、森林環境譲与税を活用し、森林所有者の森林管理・整備に関する意向調査を数年かけて行う予定です。さらに、関係各課と協議し、新たな森林環境譲与税の使途を検討します。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

都市環境

令和6年度事業

1. PLAN（計画）

分野	3-6 環境保全	担当課
	② 里山の保全	建設環境課
施策の展開方向	<ul style="list-style-type: none"> ●山林への不法投棄については、パトロールを実施するなど監視体制を強化します。 ●無秩序な開発行為に対する指導・規制を強化します。 ●山林の治山・治水・水源かん養等の公益機能を高めるための管理・保全体制を強化します。 	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
		対前年増減→							
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)
取組① 定期的な環境パトロール・啓発活動の実施 【取組の概要（背景・目的等）】 不法投棄のないまちを目指し、パトロールや不法投棄撲滅についての啓発を行います。 【実施内容・成果（R06）】 定期的なパトロールを行い（週に一度）、不法投棄の防止及び管理体制の強化に努めました。 不法投棄のあった場所は、看板の設置及びパトロールの強化を行いました。 《令和6年度不法投棄件数》 9件（令和5年度実績：6件） 建築廃材（桜ヶ丘3丁目、北上牧）、こたつ（緑ヶ丘）タイヤ（服部台4丁目、北上牧）、仏壇（役場敷地内）、自転車（三軒屋）、ペンキ缶など（北上牧） 《令和6年度看板設置件数》 9件（令和5年度実績：6件） （中筋出作：1、片岡台2丁目：3、下牧1丁目：1、三軒屋：4） 【事業費（決算額：R06）】 予算計上なし	A	【評価の理由・根拠】 定期的なパトロールを行っている、または、地域のかたからの通報によりいち早く不法投棄物を発見し対応できていると考えるため、評価をAとしています。 【今後の取組方針】 引き続き定期的なパトロールを行うとともに、不法投棄をされない・させないために広報誌などを通じて啓発を行います。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

都市環境
令和6年度事業

1. PLAN（計画）

分野	3-6 環境保全	担当課
	③ 環境汚染の防止	建設環境課
施策の展開方向	<ul style="list-style-type: none"> ●町域のパトロールを実施し、環境汚染の未然防止と的確な実情把握に努めます。 ●河川への生活排水の流入を防止するため、公共下水道の整備を進め多様な生物が生息する環境づくりを図ります。 ●河川の汚染を進める洗剤や薬品、油等の廃棄防止について、各家庭や各事業所への啓発を進めます。 	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
		対前年増減→							
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)
取組① 定期的な環境パトロール・啓発活動の実施 【取組の概要（背景・目的等）】 町域のパトロールを実施し、環境汚染の未然防止と的確な実情把握に努めます。（週1回） 水質異常を防止するための啓発活動を行います。（毎年2月） 【実施内容・成果（R06）】 水質異常を防止するため、令和7年2月にラスパ西大和店にて啓発活動を実施し、大和川河川事務所から提供していただいたキッチンペーパー及び水切りネット（240個）を配布しつつ、水質改善啓発を実施しました。 【事業費（R06）】 予算計上なし	A	総合戦略 - 【評価の理由・根拠】 ビラ配布活動や広報などを活用し、しっかりと啓発活動ができたと考えられるため、評価をAとしています。 【今後の取組方針】 引き続き、町域のパトロールを実施し、環境汚染の未然防止と的確な実情把握に努めます。（週1回） 大和川流域における水環境の意識改善を促し、水質異常を防止するための啓発活動を毎年2月に実施していきます。
取組② 環境汚染に対する適切な対策の実施 【取組の概要（背景・目的）】 大和川クリーンデー及び大和川一斉清掃に合わせて滝川の一斉清掃を実施し、河川の環境汚染対策を進めていきます。（年2回） 【実施内容・成果（R06）】 令和6年7月の大和川クリーンデーに合わせて実施する滝川の一斉清掃では、滝川の近隣住民に対し広報及び自治会回覧を活用し参加を呼びかけ、7月27日（土曜日）に実施しました。14人のかたに参加していただき、約30kgのごみを回収しました。 令和7年3月の大和川一斉清掃に合わせて実施する滝川の一斉清掃では、雨天により中止を余儀なくされました。 【事業費（R06）】 ・大和川流域総合治水対策事業：14千円	A	総合戦略 - 【評価の理由・根拠】 ボランティアのかたの協力及び理解を得ながら、実施できたと考えられるため、評価をAとしています。 【今後の取組方針】 大和川一斉清掃、大和川クリーンデーの一環として、滝川の清掃を行います。広報及び自治会回覧を活用し、住民参加型としてボランティアのかたへの呼びかけを行い、3月と7月に清掃活動を実施していきます。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

都市環境

令和6年度事業

1. PLAN（計画）

分野	3-6 環境保全	担当課
	③ 環境汚染の防止	下水道課
施策の展開方向	<ul style="list-style-type: none"> ●町域のパトロールを実施し、環境汚染の未然防止と的確な実情把握に努めます。 ●河川への生活排水の流入を防止するため、公共下水道の整備を進め多様な生物が生息する環境づくりを図ります。 ●河川の汚染を進める洗剤や薬品、油等の廃棄防止について、各家庭や各事業所への啓発を進めます。 	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
公共下水道接続率【%】	-	96.3 対前年増減→	96.2 -0.1	94.8 -1.4	94.9 +0.1	94.8 -0.1			98.0
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)
取組① 各家庭における公共下水道への接続の推進 【取組の概要（背景・目的等）】 町内の公共下水道において、水洗化（公共下水道接続率）100%を目標としています。 【実施内容・成果（R06）】 町のホームページに公共下水道の接続義務についての説明文書を掲載しています。 また、未接続である家屋へ訪問し、対面での説明やポスティングによる啓発活動を行っています。 【事業費（決算額：R06）】 予算計上なし	B	【評価の理由・根拠】 未整備家屋所有者の経済的な問題などにより、整備できていない状況となっているため、評価をBとしています。 【今後の取組方針】 今後については、汚水が影響する環境汚染を考慮し、接続義務への理解を広く得るため、できる限り足を運んだ啓発活動を行い、公共下水道接続率向上に努めていきます。

総合戦略

-

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

都市環境
令和6年度事業

1. PLAN（計画）

分野	3-6 環境保全	担当課
	④ 景観緑化	まちづくり推進課
施策の展開方向	●かんまき笹ゆり回廊の整備を推進し、やすらぎと憩いのある緑地空間を整備するなど、良好な景観づくりや緑化に努めます。	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
かんまき笹ゆり回廊整備状況進捗率【%】	○	47.0 対前年増減→	89.0 +42.0	89.0 ±0	89.0 ±0	100.0 +11.0			100
まちのきれいさや騒音の少なさなど身の回りの環境に満足している町民の割合【%】	-	23.4 対前年増減→	- -23.4	-	-	-			75.0
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)
取組① かんまき笹ゆり回廊を活用したにぎわい創出事業 【取組の概要（背景・目的等）】 かんまき笹ゆり回廊の整備によって町内の歴史文化遺産を巡ることのできるネットワーク整備に取り組みます。 【実施内容・成果（R06）】 かんまき笹ゆり回廊の主要な通りである滝川遊歩道沿いにある芝桜について、開花時期に合わせライトアップを行いました。 かんまき笹ゆり回廊に案内板を設置し、伊邪那岐神社から片岡城跡の入り口付近までの道を草刈りをして整備しました。 上牧町ウォーキングマップを新たに作成しました。 【事業費（決算額：R06）】 ・笹ゆり回廊整備事業：1,316千円 ・芝桜植栽維持管理委託事業：999千円 ・滝川遊歩道草刈り委託事業：843千円	A	【評価の理由・根拠】 滝川遊歩道沿いにある芝桜のライトアップを実施したほか、笹ゆり回廊に案内板を設置し、伊邪那岐神社から片岡城跡の入り口付近までの道を草刈りして整備したため、評価をAとしています。 【今後の取組方針】 笹ゆり回廊の案内板設置をしたことにより整備が完了しましたので、ウォーキングマップやHPなどを活用し、町内外に広く周知します。 またポケットパークを活用した良好な景観づくりを検討します。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

都市環境

令和6年度事業

1. PLAN（計画）

分野	3-6 環境保全	担当課
	⑤ 公園緑地	建設環境課
施策の展開方向	<ul style="list-style-type: none"> ●各地区にやすらぎや憩いのあるポケットパーク等の緑地空間を適切に配置します。 ●町内各公園緑地の適切な維持管理に努めます。 	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
		対前年増減→							
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)
取組① 定期的な緑地の維持管理 【取組の概要（背景・目的等）】 公園緑地の草刈、樹木の消毒及び剪定などを実施し適切な維持管理に努めるとともに、都市公園法17条に基づき公園台帳を整備し電子化することで効率的なサービスの提供を行います。 【実施内容・成果（R06）】 公園緑地の維持管理については、5月～7月頃・9月～11月頃に年2回の草刈委託業務、5月頃・9月頃に年2回の樹木消毒業務、1月～3月頃に年1回の樹木剪定業務を実施しました。 町内の公園全69箇所の内、26箇所が町管理公園となっています。そのうち4箇所の公園において台帳を整理し都市公園に認定しました。（友が丘1号公園275㎡、服部台1号公園568㎡、下牧3丁目8街区公園219㎡、下牧3丁目9街区公園174㎡、合計1,236㎡） 【事業費（R06）】 ・公園管理事業（草刈及び剪定業務）：34,803千円	A	【評価の理由・根拠】 公園及び緑地における維持管理について、定期管理が実施できたと考えられるため、評価をAとしています。 【今後の取組方針】 年2回の草刈委託業務、年2回の樹木消毒業務、年1回の樹木剪定業務を実施し、定期的な緑地の維持管理に努めていきます。また、今後も同様の自治会要望などに対して、樹高を揃えるなどの剪定及び伐採などを検討してまいります。 町管理公園において、順次公園台帳の整備及び電子化を進め都市公園への認定に努めていきます。
取組② 公園遊具の適切な維持管理 【取組の概要（背景・目的等）】 公園内の遊具の安全性を確保するため、公園施設点検管理士による公園遊具の保守点検を実施し、職員においても公園遊具の点検パトロールを実施し、公園遊具の適切な維持管理に努めます。 【実施内容・成果（R06）】 令和6年度の遊具保守点検を実施しました。 過年度の点検結果から5箇所の都市公園において、5基の遊具の入替え、1基の撤去を実施し、3箇所の町管理公園において、1基の遊具の入替、1基の修繕、1基の撤去を実施しました。 【事業費（R06）】 ・公園管理事業（遊具点検業務）：696千円 ・公園長寿命化事業：6,829千円	A	【評価の理由・根拠】 点検結果による遊具の入替及び修繕について、着実に実施できているため、評価をAとしています。 【今後の取組方針】 公園内の遊具の安全性を確保するため、公園遊具の保守点検を実施してまいります。また、危険がないよう、職員においても公園遊具の点検パトロールを実施し、公園遊具の適切な維持管理に努めていきます。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

都市環境
令和6年度事業

1. PLAN（計画）

分野	3-6 環境保全	担当課
	⑤ 公園緑地	まちづくり推進課
施策の展開方向	●各地区にやすらぎや憩いのあるポケットパーク等の緑地空間を適切に配置します。 ●町内各公園緑地の適切な維持管理に努めます。	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
		対前年増減→							
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)
取組① 滝川における清らかな水辺の創造計画の推進 【取組の概要（背景・目的等）】 かんまき笹ゆり回廊の整備によって町内の歴史文化遺産を巡ることのできるネットワーク整備に取り組みます。 【実施内容・成果（R06）】 かんまき笹ゆり回廊の主要な通りである滝川遊歩道沿いにある芝桜について、開花時期に合わせてライトアップを行いました。 かんまき笹ゆり回廊に案内板を設置し、伊邪那岐神社から片岡城跡の入り口付近までの道を草刈りをして整備しました。 上牧町ウォーキングマップを新たに作成しました。 【事業費（決算額：R06）】 ・笹ゆり回廊整備事業：1,316千円 ・芝桜植栽維持管理委託事業：999千円 ・滝川遊歩道草刈り委託事業：843千円	A	総合戦略 - 【評価の理由・根拠】 滝川遊歩道沿いにある芝桜のライトアップを実施したほか、笹ゆり回廊に案内板を設置し、伊邪那岐神社から片岡城跡の入り口付近までの道を草刈りして整備したため、評価をAとしています。 【今後の取組方針】 笹ゆり回廊の案内板の設置が完了しましたので、ウォーキングマップやHPなどを活用し、町内外に広く周知します。 またポケットパークを利活用した良好な景観づくりを検討します。 滝川遊歩道に関しては、整備が完了しているため、右岸が「歩行者優先道」、左岸が「自転車優先道」であることの周知や草刈りを行います。